

恩師のご指導

教育・平成2年卒・高木 一

私は、体育研究室に入りました。いわゆる体研です。担任は、現学部長の山神眞一先生でした。担任をしていただいていたので、在学中はもちろん多くのご指導をいただきました。しかし、もっとも心に残っているご指導は、卒業後でした。当時の体研は、コンパ（当時忘年会など懇親会をコンパと呼んでいた）に卒業生が参加していました。私も卒業後数年経って参加しました。1次会が終わったとき、山神先生から「高木、2次会に行くぞ。」と誘われました。なぜか誘われたのは、私一人でした。自意識過剰の私は、「山神先生に期待されているのかな。」と思い少しわくわくした気持ちで次の店に行きました。

どんな期待の言葉、どんなお褒め言葉をいただけるのか待っていましたが、結果はまったくの逆でした。ある研究会での私の発言の仕方が悪く、悪い評判になっているので気をつけなさいというものでした。想像もしていなかったお言葉に私は言葉を失いました。その後、どんな話をしたのか、どうやって家に帰ったのか憶えていません。しかし、薄暗い店内の風景だけは妙に目に焼きついています。

これが体研、これが香大なのかなと思います。在学中には、もちろん多くのことが学べますし、強いつながりもあります。しかし、卒業後、さらに深いご指導をいただけたら、深いつながり感じたりできるのが香大のよいところではないでしょうか。現在の勤務校にももちろん香大の先輩、体研の先輩が多くいらっしゃいます。この4月に人事異動で赴任しても多くの先輩方がいらっしゃるおかげで何の不安もなく、勤務できています。もう何年も働いているような錯覚にも陥ります。こんなとき、「体研でよかった、香大でよかった。」と思います。現在松楠会高松支部の事務局をさせていただいています。事務局をさせていただいたおかげでさらに香大の輪が広がり、さらに香大が好きになりました。最後になりましたが、今年の3月20日の人事異動発表後山神先生から励ましのお電話がありました。ご多忙の中、私のような者のこと気にかけてくださる恩師に巡り会えたことに改めて感謝いたしました。新天地では、恩師の先生方、諸先輩方にご心配、ご迷惑をおかけしないよう頑張りたいと思います。